

夏休み宿題のお手伝い 2話

自分で工夫して遊び道具を作ろう

生3-環 中島 洋吉

こうべ環境未来館環境学習講座『第4回 自分で工夫して遊び道具を作ってみよう～工夫次第では不要になったものが生き返るよ!』の催しが、8月20日(土)に開かれました。

『自分の身の回りには、工夫して少し手を加えればまだ使えるものがたくさんあります。これらの使わなければごみになる材料を使って、簡単な遊び道具づくりに挑戦して、体験的にごみの減量化について学ぶと同時に、ものづくりの面白さや遊ぶ楽しさを味わってみませんか』の呼びかけに、65名(子ども32名大人33名)参加がありました。

神戸市のごみの現状について話を聞いたり、持参してもらった各家庭で不要になった物を利用して作った製品をお互いに紹介した後、いろんな廃材を使っての遊び道具づくりに挑戦しました。

参加者はこうべ環境未来館コーディネーターやグループわ木工倶楽部の皆さんが、事前に準備してくれた材料を使い、丁寧な指導を受けながら、牛乳パックを利用して紙トンボ、紙写真機づくり、ペットボトルを利用して風車・水車づくり、トイレットペーパーの芯やフィルムケースを利用しての笛づくり、古布を使

ったのお手玉・雑巾づくり、木材・竹材の廃材を使っての工作(水鉄砲・紙とんぼ)づくりなどに時間の経過も忘れるほど大人も子どもも熱中し、世界に一つしかない自分だけの手づくり遊具を完成させました。参加者からは「おもちゃを作っている時も、遊んでいる時と同じ様に楽しい」と、ものづくりの楽しさを満喫していただいたと思います。以下参加された方々の感想を紹介します。

【子ども】

・使い終わった物でも、こんなに楽しいものになるとは思いませんでした。その中でも私は笛が好きで、笛でいろんな曲が吹けたことが楽しかった。(10才女児)

・何時も捨てしまう物も、いろんな工夫をすれば又もう一度使うことが出来るのがわかってよかったです。(11才女児)

・いらなくなった物でたくさんのおもちゃを作ることが勉強になりました。水車や紙トンボづくりが楽しかった。(12才男児)

・いらぬごみでもリサイクルすると、カメラや紙とんぼ、笛が出来るのがわかりました。そのうちカメラを作ったのが楽しかった。(8才女児)

・家庭で出た不要な物で、貯金箱や登り人形といろいろ



廃品で作った紙とんぼを飛ばす子どもたち

ろ作れて楽しかったです。皆さんありがとうございます。(9才女児)

・神戸のごみが多いことが分かりました。パタパタ作りが楽しかった。(7才男児)

【大人】

・ペットボトルで服が出来るのが新しい発見です。一人当たりのごみの量は神戸市が一番多いことを知りました。(34才男性)

・不用品を利用して、これだけの遊ぶ物が作れ、子どもも鋸を使ったり、釘を打ったりとても良い経験ができました。子どもたちは教えてもらいながら楽しんで作品が出来、大満足しています。(34才女性)

・不要になった物やごみを捨てる前に、新しいおもちゃに作り直せることが分り勉強になりました。孫達と糸鋸などを使って、物を作る事ができ楽しかったです。(76才女性)

・ペットボトルや廃材でいろんな楽しいおもちゃが出来上がったのには驚きです。ごみをうまく使えば資源になるし、もう一度新しい物に作り

直せる再利用法があることを改めて感じ、貴重な体験ができました。家では経験させてやれない、道具を使って親子で木工作業が出来て楽しかったです。(43才女性)

・木工の材料が選挙の済んだ後の看板と聞いてびっくり、きれいなのに捨てられてしまう物が多いことを知った。子どもが初めて鋸、針を使って物を作りました。道具が良かったのか(?)割と簡単に使いこなして、家でも親が危ないと思ひ込んでしまわず、何でもやらせてみようと思った。(42才女性)

・初めて子どもに針を持たせました。想像以上に楽しそうにしていました。また家でも面倒くさがらず使わせようと思います。牛乳パックとストローだけで、竹とんぼが出来たのは驚きでした。(女性)

・作る時間を忘れるほどの楽しさと、出来たときの子どもの嬉しい顔が大発見です。不器用で折り方一つ手惑いましたが、子どもと楽しめました。(36才女性)

等などたくさん感想が寄せられました。◆